

(公社) 日本鍼灸師会 全国大会 in 愛知大会レポート

講演5 第1部：「鍼灸治療が有効な疾患とその治療法」

講師：首藤傳明先生（日本伝統鍼灸学会 相談役）

報告者：平地治美（学術委員会）

鍼がよく効く疾患としてまず臓、腑、2番目にこころの病を挙げて具体的な経穴や治療方法を解説。「医術は科学に基づいたアート」という言葉が印象的であった。臨床歴63年91歳の先生の言葉はやはり説得力が違う。実技は肺虚証の治療から各臓の治療法を披露してくださった。取穴もとてもわかりやすかった。

柳谷風池（緑内障）への置鍼や腋窩点への皮内鍼、灸など、全てが超施刺ではなく、様々な手技を取り入れていらっしゃった。個人的な感想としては、本治法への超施刺よりも標治法の方が効いているのではないかと感じた。

手の動きが美しく、伝統芸能を観ているようであった。年を重ねるほどに進化していくのはAIには不可能で、このような先生の存在自体が鍼灸界の希望になると感じた。